

会報

## ゆかり

## 第32号

発行日:2019年6月1日  
 発行:鹿児島純心女子短期大学  
 同窓会ゆかり会  
 〒890-8525 鹿児島市唐湊4-22-1  
 TEL・FAX (099)255-7655  
 E-mail jyukarikai@ybb.ne.jp  
 U R L http://www.geocities.jp/jyukarikai  
 編集:ゆかり会事務局



名誉会長  
 平山 久美子 (学長)



## 教皇フランシスコ『三つのことば』によせて

およびそこで勤務しておられる方々など、純心スピリットのもとで生活しておられる方々の総体、共同体のことです。

その精神的な特徴は、聖母マリアのように、神様を愛し人を愛する生き方こそ、最も大切なことであるとの理想のもと、日常生活のささやかな愛の実践を積み重ねて、知らず知らずのうちに「地の塩、世の光」としての役割を果たしていることではないでしょうか。

### 二、江角ヤス先生の「二つの言葉」

本学園の創立者である江角ヤス先生は私どもが「聖母マリアのように 神様にも人にも喜ばれる女性」であってほしいとの願いから、折々にわかりやすい言葉で教えを述べておられました。そのうちの一つに「大事なことは『ありがとう』と『すみません』この二つなのよ」という教えがあります。私たちは、人間関係を築くうえで感謝とお詫びの言葉は大切であると分かっているにもかかわらず、知らず知らずのうちに横着な心や甘えの気持ちから、その言葉を使うべき時に使わず、人間関係にひびが入ってしまうことがあります。

### 三、教皇フランシスコ「三つのことば」

私は毎年、学園聖堂で行われる学長講話の時に、江角ヤス先生の「二つの言葉」を取り上げ

て話しているのですが、最近、この教えに非常に似た教皇フランシスコ「三つのことば」という記事を目にしました。教皇フランシスコが人間関係をよくするために勧める「三つのことば」とは「いいですか」「ありがとう」「ごめんなさい」という言葉です。

これらの言葉のうち、「ありがとう」「ごめんなさい」の言葉については、私たちもたやすく理解できることでしょうか。しかし、「いいですか」という言葉については、最初は私もよく理解できませんでした。「いいですか」という言葉は、相互の人間関係の中で、自分が相手の気持ちや意向を考えずに、勝手に独断でふるまってしまうのではなく、相手の存在や意向を尊重して発せられる言葉です。

「これをしてもいいですか」「こうしましょうか」とまず相手に発言のチャンスを与え、一緒に考えて決めていく態度はいろいろな共同体でも必要な態度ですが、特に親しい間柄である夫婦や家庭にとってとりわけ大事な態度であり、また言葉かけであると、教皇は提言しておられます。

私たちのちょっとした振り返りと適切な言葉使用によって夫婦や家庭の間において、人間の最も根源的な願いである愛と信頼を求める心が満たされ、幸せの輪が広がっていくなら、なんとすばらしいことでしょうか。

(平成30年度ゆかり会入会式挨拶より)

二年生のみなさん、今日は朝から卒業式の予行でしたね。そして明日、いよいよ卒業式が行われます。純心短大の二年間の学生生活は皆さんにとって長かったでしょうか、それとも短かったでしょうか。一人一人その感じ方は違うことでしょう。

今日は卒業式に先立ち、本学の同窓会であるゆかり会の入会式が行われます。この入会式は皆さんの先輩である同窓会の方々がいる準備し、皆さんのゆかり会への入会を歓迎するものです。そして現在のゆかり会の会員数は約17,000人程で、日本や世界の各地で活躍しております。

### 一、純心ファミリー

皆さんは純心ファミリーという言葉を知ることがあるでしょう。純心ファミリーとは私どもの純心聖母会というカトリック女子修道会を母体として創立された幼稚園、中高、短大、大学、大学院の学校教育機関で学んだり、保育所や高齢者福祉施設で生活しておられる方々、